

男子バレーボール部秋季紀南リーグ戦レポート



日時：8月27日～28日

場所：熊野高校

予選リーグ

VS田辺高校

セットカウント2-1 勝利

VS神島高校

セットカウント0-2 負け

VS田辺工業高校

セットカウント0-2 負け

三位決定戦

VS田辺高校

セットカウント2-1 勝利

8月27日と28日、平成28年度紀南バレーボールリーグ戦がここ熊野高校にて行われた。

三年生が引退し、新しいチームになって初めての大会であった。

高体連の定める公式戦ではないが、選手は去る総体で果たせなかった初勝利のため、気合十分で会場入りした。

特に活躍が光ったのが、あるセンターの選手だった。総体での試合開始直後に足を捻挫し、悔しい思いをした選手だ。サーブで相手チームを幾度となく崩し、プレーでも数多く速攻を決め、チームを鼓舞し続けた。彼の活躍に引っ張られるようにして、他の選手もいつも以上に安定したサーブカットを見せ、また1年生は多くの試合経験をつむことができた。

そして、ついに熊野高校男子バレー部は、田辺高校との試合で待望の一勝を得ることができた。

もちろん反省もある。三位という順位は決して満足して終わっていい結果ではない。まだまだパスやレシーブの基礎的な動きに雑な面も見られたし、上位チームとの対決では、ミスが続いたときに立て直せない精神的な弱さも浮き彫りになった。

「勝ちにこだわって戦い抜いた結果、三位になることができました。今回の結果に満足せず、次の大会でもいい成績を残せるように日々の練習を頑張っていきたいと思います」

大会を終えて、新チームのキャプテンの感想である。次は十月に選手権大会が待っている。選手達のさらなる成長に期待したい。

